

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成22年4月2日(2010.4.2)

【公表番号】特表2009-528030(P2009-528030A)

【公表日】平成21年8月6日(2009.8.6)

【年通号数】公開・登録公報2009-031

【出願番号】特願2008-555900(P2008-555900)

【国際特許分類】

C 1 2 Q	1/68	(2006.01)
C 1 2 N	15/09	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 P	3/10	(2006.01)
A 6 1 P	5/48	(2006.01)
A 6 1 P	37/06	(2006.01)

【F I】

C 1 2 Q	1/68	Z N A A
C 1 2 N	15/00	A
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 P	3/10	
A 6 1 P	5/48	
A 6 1 P	37/06	

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月5日(2010.2.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

a) 対象から得られた試料中のArnt12遺伝子の発現レベルを決定し；

b) (a)において決定されたArnt12遺伝子の発現レベルを、前記対象が属する個体群から得られた対応する型の試料中のArnt12遺伝子の平均発現レベルと比較する

ことを含み、前記対象でのArnt12遺伝子の発現レベルがArnt12遺伝子の平均発現レベルよりも低いことが、進行性インスリン依存性糖尿病における感受性の増加に相関する、対象の進行性インスリン依存性糖尿病に対する感受性を決定する方法。

【請求項2】

前記対象がヒトである請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記Arnt12遺伝子が、配列番号3の配列と少なくとも90%相同である請求項1又は2に記載の方法。

【請求項4】

前記Arnt12遺伝子が、配列番号3の配列と少なくとも95%相同である請求項1~3のいずれか1項に記載の方法。

【請求項5】

前記試料が、脾細胞を含む請求項1~4のいずれか1項に記載の方法。

【請求項6】

前記脾細胞が、CD4(+) T細胞、CD8(+) T細胞、B細胞及びマクロファージからなる群よ

り選択される少なくとも1つの型である請求項5に記載の方法。

【請求項7】

- a) 糖尿病感受性NODマウスから対照試料を得て；
- b) 前記対照試料中のArntl2遺伝子の発現レベルを決定し；
- c) 前記糖尿病感受性NODマウスに少なくとも1つの候補化合物を投与し；
- d) 前記投与の後に、前記糖尿病感受性NODマウスから試験試料を得て；
- e) 前記試験試料中のArntl2遺伝子の発現レベルを決定し；
- f) (b)で決定されたArntl2遺伝子の発現レベルを、(e)で決定されたものと比較することを含み、(b)と比較した(e)でのArntl2遺伝子の発現レベルの増加が、インスリン依存性糖尿病耐性の増加に相関する、必要とする対象におけるインスリン依存性糖尿病の治療又は予防に有効な化合物を同定する方法。

【請求項8】

前記対照試料が、前記糖尿病感受性NODマウスの脾臓から得られる請求項7に記載の方法。

。

【請求項9】

前記試験試料が、前記糖尿病感受性NODマウスの脾臓から得られる請求項8に記載の方法。

。

【請求項10】

前記対照試料が、前記糖尿病感受性NODマウスの胸腺から得られる請求項7に記載の方法。

。

【請求項11】

前記試験試料が、前記糖尿病感受性NODマウスの胸腺から得られる請求項10に記載の方法。

【請求項12】

前記Arntl2遺伝子が、配列番号1の配列と少なくとも90%相同である請求項7~11のいずれか1項に記載の方法。

【請求項13】

前記Arntl2遺伝子が、配列番号1の配列と少なくとも95%相同である請求項7~12のいずれか1項に記載の方法。

【請求項14】

前記試料が、CD4(+)T細胞、CD8(+)T細胞、B細胞及びマクロファージからなる群より選択される少なくとも1つの型の脾細胞を含む請求項7~13のいずれか1項に記載の方法。

【請求項15】

前記決定が、定量PCRを含む請求項7~14のいずれか1項に記載の方法。

【請求項16】

前記定量PCRが、配列番号11及び配列番号12で表されるプライマー対を用いる請求項15に記載の方法。

【請求項17】

前記定量PCRが、配列番号13及び配列番号14で表されるプライマー対を用いる請求項15に記載の方法。

【請求項18】

前記定量PCRが、配列番号31及び逆相補配列の配列番号32により表されるプライマー対を用いる請求項15に記載の方法。